

2012年10月の邦人犯罪被害事例

在フランス日本大使館領事部

10月中に大使館領事部に届けられた邦人の犯罪被害の件数は93件で、今年に入ってから合計は、10月31日現在、685件となっています。

今月のコメント!

◎昨年10月の41件から2倍以上の発生件数となりました。発生場所は地下鉄やオペラ座界限などの観光地が多くなっています。また、週末の発生率は平日の2倍となりました。

◎10月は、地下鉄内でのスリが相変わらず多発しましたが、置き引き被害も他の月に比べて多く発生しました。ホテルの朝食会場やカフェなどのレストランでは、荷物を椅子の背もたれに掛けたり、例えば数秒であっても置きっぱなしにしない様に注意してください。

【2012年10月の被害届分析表】

○被害手口	当該月	累計
強盗	2	23
ひったくり	1	31
スリ	62	473
置き引き	25	131
車上狙い	1	5
侵入盗(空き巣等)	2	17
偽警察官	0	1
その他の手口	0	4
合計	93	685

○事件発生時間帯	当該月	累計
0時台～5時台	1	8
6時台～9時台	17	94
10時台～13時台	23	176
14時台～17時台	27	216
18時台～21時台	24	137
22時台～23時台	0	16
不明	1	38
合計	93	685

○事件発生曜日	当該月	累計
月曜日	12	68
火曜日	5	73
水曜日	13	91
木曜日	13	82
金曜日	11	105
土曜日	23	150
日曜日	16	115
不明	0	1
合計	93	685

○平日・休日の別	当該月	累計
平日	54	399
休日・祝祭日	39	285
不明	0	1
合計	93	685

○発生場所	当該月	累計
○パリ市内及び近郊		
メトロ車内・駅構内	25	209
RERのB線	2	21
上記以外の電車・駅構内	1	21
凱旋門・シャンゼリゼ通り界限	6	32
エッフェル塔界限	1	7
オペラ座界限	17	85
ルーブル・オルセー美術館界限	6	53
上記地区以外のレストラン・カフェ	5	21
上記地区以外のホテル	6	33
上記地区以外の路上	6	62
その他の場所・不明	15	90
○パリ市とその近郊以外		
電車・駅等交通機関	1	16
レストラン・カフェ等	1	2
ホテル	1	7
路上	0	13
その他の場所・不明	0	13
合計	93	685

○性別区分	当該月	累計
男性	49	302
女性	44	383
合計	93	685

○年齢	当該月	累計
20歳未満	2	26
20歳代	13	130
30歳代	18	131
40歳代	17	91
50歳代	18	110
60歳代	18	110
70歳以上	3	25
不明	4	62
合計	93	685

○月別発生件数(2012年)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
2011年	52	54	75	53	57	68	69	100	64	93	0	0	685

【10月の被害例】

1. 10月2日、乗車したタクシーがマドレーヌ寺院近くの路上で信号待ちをして停車していたところ、近付いて来た男に後部座席の窓ガラスを割られ、隣席に置いていたリュックサックを強奪された（強盗：男性出張者）
【対策】自動車に乗車の際は、外から見える場所にバッグ等を置かず、足下か、可能であればトランクの中に入れるようにしてください。
2. 10月7日、ルーブル美術館でモナリザ前に到着した際、混雑していたのでバッグを注意したところ、既にチャックが開いており、財布が盗まれていたことに気が付いた（スリ：女性旅行者）
【対策】スリはプロです。ちょっとした隙を見逃しませんので、混雑した場所のみならず常に警戒を怠らないことが必要です。
3. 10月15日、ホテルの朝食会場で椅子の上に鞆を置いたままビュッフェを取りに行き戻ってくると、鞆がなくなっていた（置き引き：女性旅行者）
【対策】置き引き被害のうち、半数近くがホテルの朝食会場での被害です。例え数秒間であつても荷物は置いたままにせず、必ず持ち歩いてください。
4. 10月16日、シャンゼリゼ通りを歩行中、数名の少女に「for UNICEF」と話しかけられ署名するように求められたので断ったが、署名用紙をのせた板のようなものを押し付けられ、2～3秒で立ち去って行った。すぐに確認するとバッグの中から財布を抜き取られていたが、少女達の姿は既に見えなくなっていた（話しかけ・集団スリ：女性旅行者）
【対策】相手が少女だからと油断せず、見知らぬ人物に話しかけられた場合は無視するか毅然と対応し、それでもしつこく言い寄ったり近寄ってくるようであれば、自分の荷物に注意しながら、速やかにその場から離脱してください。
5. 10月29日、ホテルにチェックイン後荷物を置いて数分外出したが、鍵の不具合のためかドアが閉まっておらず、その際に何者かが侵入し、所持品の空き巣被害に遭った。
【対策】今月に入り同様の被害報告が合計2件あり、今後同様の被害が増えるのではないかと危惧しております。恐らく犯人は、ドアの鍵が閉まらないように事前にドアや鍵に何らかの細工を施し、宿泊者が鍵が閉まったと思い外出した後で犯行に及んでいるものと思われます。ホテルの部屋から外出する際は、貴重品は金庫等に入れ保管するのは当然のことですが、ドアの鍵がきちんと閉まっているか確認することも重要です。ドアがきちんと閉まらなかったり、不審な点があれば部屋からホテルのスタッフに電話をし、確認するよう心がけてください。